

指定管理者制度導入施設 年度評価シート

評価年度

令和4年度

1 基本情報

公の施設名	相模原市立鳥居原ふれあいの館
指定管理者名	有限会社鳥居原
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日まで
施設設置条例	相模原市立鳥居原ふれあいの館条例
施設の設置目的	鳥屋地域の優れた自然環境を生かした産業振興を図り、地域活性化に資するとともに、農林産物等の展示直売及び市民の交流の促進する施設として設置
施設概要	所在地：相模原市緑区鳥屋1674番地 開館年度：平成12年4月 規模：敷地面積2,748.87㎡(うち管理面積2,089.99㎡)、延床面積470.36㎡ 構造：木造平屋建 主な施設：直売所、食材提供室、展示室・ホール、研修室
施設所管課	環境経済局 農政課

2 管理実績

項目(単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数合計(人) ※レジ通過者数	134,005	136,668	121,906	81,126	77,892	131,437	
利用者数合計(人) ※研修・練習室、舞台	5,091	10,175	21,852	4,147	6,821	7,869	
利用料金合計(円)	148,800	151,200	126,400	35,330	62,500	100,600	

3 成果指標の達成度

評価(5評価)	評価理由・委員会意見
B	令和4年度については、年間を通じて通常営業を行ったため、3年振りに年間レジ通過者数が10万人を超え目標値と比較すると達成度は93.0%となるため、B評価とした。

指標	
指標名(単位)	年間レジ通過者数(人)
指標式と指標の説明	目標人数は、平成28年度から平成29年度までの2年間の食材提供室での食事や地場野菜、地元特産品を買い求めるお客様がレジを通過した実績の平均値の5%増とする。

項目(単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値(人)	144,000	144,000	141,400	141,400	141,400	141,400	141,400
実績値(人)	134,005	136,668	121,906	81,126	77,892	131,437	
達成度(%)	93.1%	94.9%	86.2%	57.4%	55.1%	93.0%	0.0%

4 事業の実施状況

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
A	<p>市が指定する事業については、鳥屋地区で採れた農林産物を中心に販売を行い、品物の置く位置や並べ方なども工夫し、食堂では地元の食材を使ったメニューなども提供しており、これらを通じて施設の設置目的である地域活性化及び市民の交流の促進に繋がっている。</p> <p>自主事業については、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を徹底的に行い、感謝祭、初春祭、体験教室、展示会、展示即売会等を開催することができ、鳥屋地域の自然を活かした魅力あふれるイベントとなり、鳥屋地域の活性化に寄与することができた。</p> <p>「ふれあい通信」については、4月からと10月からのイベント情報等を2回発信し、3月には市が設置したデザインマンホール情報を入れたパンフレットを発行した。</p>

市が指定する事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
農林産物等の販売	通年	鳥屋地域を中心とした農林産物の販売を実施した。	◎
農林産物等の販売(食堂)	通年	食堂を運営し、来館者への食事を提供した。	○

自主事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
体験教室	4月～3月	・15種類の体験教室を45回開催、参加者1,249名 ・薪割り体験や寄せ植え教室等の鳥屋地域の自然を生かした体験教室を実施した。	◎
展示会	5月、7月 9月、11月	・研修室を利用した木彫り展、やわらかい心展、宮ヶ瀬かわいもの達展を合計24日間実施し、6,201名が来場した。	○
展示即売会	4月～3月	・館内ホールの空きスペースを利用し、展示即売会を225日開催した。 ・毎月3グループに分かれて週ごとに行った。	◎
野外イベント	4月～3月	・クラフト市を12回、フリーマーケットを6回実施した。	○
「ふれあい通信」の発行	4月、10月	・「ふれあい通信」については、4月からと10月からのイベント情報等を2回発信し、3月にはパンフレットを発行した。	○

5 利用者の満足度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
A	<p>目標値を設定した「販売している商品」、「食事」、「従業員の対応」の3つの調査項目における調査結果は「販売している商品」:70.5%、「食事」:50.8%、「従業員の対応」:82.1%であった。調査項目の平均値は67.8%で目標値66.3%に対する達成度は102.3%となりA評価とした。</p>

利用者満足度調査

調査手法/サンプル数	鳥居原ふれあいの館の来場者に対し、「販売している商品」、「食事」、「従業員の対応」の3つの調査項目について、5段階(①大変満足、②満足、③ふつう、④やや不満、⑤不満)で評価してもらう。 /来館者数400名(夏季:200名、冬季:200名)
目標値の基準	調査項目のうち「販売している商品」、「食事」、「従業員の対応」について「①大変満足」+「②満足」の回答の割合の過去3年間の平均値を各項目の目標値とし、その平均値を全体の目標値として設定する。

項目（単位）	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値（%）	70.0%	70.0%	70.0%	64.2%	63.9%	66.3%	
実績値（%）	62.5%	66.1%	63.7%	68.9%	66.0%	67.8%	
達成度（%）	89.3%	94.4%	91.0%	107.3%	103.3%	102.3%	#DIV/0!

その他の取組

取組事項	時期	取組内容
来館者の意見・要望の収集	通年	施設内に記入用紙及び回収箱を設置し、来館者からの意見・要望を収集し、施設運営に役立てている。

6 施設の経営状況

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
C	令和4年度は、売上が増加し、財務的には安定しているが、水道光熱費の高騰により、営業利益がマイナスであった。今後も水道光熱費の高騰により増加することが懸念されたため、営業的に他の経費の削減を検討する必要がある。施設の経営状況についてはC評価とした。

施設の収支概要

※直近3年間について記載

(円)

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度
収入 (a)	77,383,637	72,770,755	80,107,197
指定管理料	0	0	0
利用料金収入	35,330	62,500	100,600
その他の収入	77,348,307	72,708,255	80,006,597
支出 (b)	65,286,216	69,884,327	82,280,016
人件費	30,366,107	32,412,260	37,739,041
本社管理経費	0	0	0
その他の支出	34,920,109	37,472,067	44,540,975
本体事業収支 【(a)-(b)】 (c)	12,097,421	2,886,428	-2,172,819
自主事業収入 (d)	1,138,717	810,813	1,979,586
自主事業支出 (e)	1,222,301	815,337	817,621
自主事業収支 【(d)-(e)】 (f)	-83,584	-4,524	1,161,965
全体収支 【(c)+(f)】	12,013,837	2,881,904	-1,010,854
備考	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策事業によるコロナ対策事業補助金及び原油価格・物価高騰の影響による支援金の支払いを各要綱に基づき行なった。 ・指定管理者制度導入施設支援金 1,500,000円 ・指定管理者制度導入施設コロナ対策事業補助金 270,000円 【合計】1,770,000円		

団体の財務状況

団体本体の経営状況について若干の懸念がある。

7 管理業務の履行状況

検査方法	市のチェックリストに基づき、指定管理者へのヒアリング及び現地確認により検査を実施した。
実施時期	令和5年1月23日

検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	現地確認及び点検結果報告書等の書類により確認した。
危機管理	適正に実施	安全管理、衛生管理、危機管理等のマニュアルを確認した。緊急時の連絡体制を確認した。
人員配置・地元活用	適正に実施	スタッフ管理簿及び労働状況台帳により確認した。
現金管理	適正に実施	現金受払簿、施設利用報告書及び貯金通帳により確認した。
会計・経理	適正に実施	預金通帳、施設利用報告書及び経理資料により確認した。
情報セキュリティ	適正に実施	業務マニュアルの整備、設置PCのパスワード管理、ウイルス対策ソフト等を確認した。
情報公開・個人情報保護	適正に実施	個人情報保護指針、情報公開規程、文書管理規程により確認した。
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	報告書、事前承認願及び役員変更届により確認した。
加点事由	具体的内容	

8 ウェブアクセシビリティ

ホームページの作成	有
-----------	---

ウェブアクセシビリティの取組項目	取組状況
機種依存文字を使っていない。	○
ページ内の文字の大きさを変えることができる。	×
単語の途中にスペースや改行を入れていない。	○
ページ内容を的確に表しているタイトルが付いている。	○
ダウンロードできるファイルには、ファイルの種類とサイズを記載している。	×
画像には、代替テキスト等を付与し、支援技術利用者にも適切な代替情報を提供している。	×
背景色と文字色にコントラストを確保するなど、色使いに配慮している。	○
その他取り組んでいること	

9 指定管理者の自己評価

鳥居原ふれあいの館も設立23年目を迎えましたが、引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により、苦しい経営を余儀なくされました。

老朽化の影響により定期点検及び改修費等も1,376,469円の支出となっており、2月には市が空調設備の改修を行ったため、2月8日から13日まで臨時休業しました。

また、9月には自動販売機が破壊され現金が盗まれたため、新たな対策として屋外用防犯カメラ2台を設置することとなり、経費の負担となっています。

そのような状況の中、ホールの目玉もある「手回し製菓機」を再開し、11月の紅葉の時期には美しい景色が来館者を楽しませ野菜出荷も充実し、売り上げ金1,500万円となりました。

イベントに関しては体験教室や展示会を重点的に企画して情報発信や交流を推進し、秋に開催した焼き芋体験・燻製教室・ピザ教室は大変好評となり、今後は冬ならではの鳥居原の楽しみ方を探ってまいります。

令和4年度は、小麦粉や油、各仕入れ代の高騰を受け、食堂メニューやまんじゅうなど、価格を1割程度値上げしながらも売り上げを伸ばしてきましたが、水道光熱費や仕入れ代の高騰、人件費の増加、臨時休業等の影響があり、決算は1,010,854円の赤字となってしまいました。

10 所管課意見

令和4年度は年間を通じて通常営業を行うことができたため、来館者数及び売り上げは増加傾向だが、原油価格・物価高騰の影響により、水道光熱費が大幅に上昇したため経営は赤字であった。

利用者満足度調査の結果では、「従業員の対応」の評価が引き続き一番高く、来館者への接客については満足していただいている。しかし、食堂の評価が50.8%と低いため、食堂のメニューについては、今後も新メニューなどの開発を行い、より満足していただけるような方策を引き続き検討してもらいたい。

年間を通じて体験教室を中心としたイベントを地域と連携して実施し、自主事業収入の増加に比べ支出を抑えている点など評価でき、鳥屋地域の活性化及び鳥居原ふれあいの館のPRにも寄与している。

施設の老朽化に伴う修繕については、神奈川県との共同施設も含め指定管理者と協議を行い、適切な維持管理を行いたい。

今後も来館者の安全、安心に努め、さらなる鳥屋地域の活性化に努めていただきたい。

11 選考委員会意見

令和4年度の（レジ通過）利用者131,437人と、平成30年度の（レジ通過）利用者136,668人のような、コロナ禍以前の数字となってきている。

来場者の満足度が高く、職員の皆様、地域の皆様のご協力、努力の賜物だと思われる。

前期は補助金の収入が多かったが、今期は150万円で、今後は以前の様な補助金の収入が無いので、人件費等の検討もしなければならない。

更なる企業努力に期待するところではあるが、同時に、現在、食料品価格の上昇が社会的に受け入れられつつあると認識しており、来年度以降は評価が改善に向かうことも織り込めるのではないかと。

